



平成30年4月24日

福岡県内経済情勢報告

平成30年4月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課


TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

福岡県内経済情勢報告（平成30年4月）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、回復している」

項目	前回（30年1月判断）	今回（30年4月判断）	前回比較
総括判断	回復しつつある	回復している	

（注）30年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は回復しているほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（30年1月判断）	今回（30年4月判断）	前回比較
----	-------------	-------------	------

個人消費	緩やかに回復している	回復している	
生産活動	回復しつつある	緩やかに回復している	
雇用情勢	改善している	改善している	

設備投資	29年度は増加見込み	29年度は増加見込み	
企業収益	29年度は増益見込み	29年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復している」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは、青果や精肉等に動きがみられたほか、百貨店では高額品や化粧品が好調なことなどから、全体では前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、全体では前年を下回っているなか、新型車が好調であることなどから、軽自動車が前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、飲食料品等を中心に好調なことなどから、前年を上回っている。家電販売額は、エアコンや機能性の高い白物家電に動きがみられたことなどから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、足下では園芸用品等に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍く、前年を下回っている。このように、個人消費は回復している。

■ 生産活動 「緩やかに回復している」

輸送用機械の自動車は、新型車投入効果がみられ、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。鉄鋼は、国内外向けの自動車用鋼材や海外向けの軌条が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイスは、車載向けを中心に引き続き好調に推移している。このように、生産活動は緩やかに回復している。

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は引き続き高水準で推移している。新規求人数は、卸売業・小売業、医療・福祉業等で増加している。新規求職者数は引き続き前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。

■ 設備投資 「29年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1-3月期

29年度は、製造業は前年比33.9%の増加見込み、非製造業は同13.8%の増加見込みとなっており、全産業では同18.4%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「29年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1-3月期

29年度は、製造業は前年比18.8%の増益見込み、非製造業は同8.2%の増益見込みとなっており、全産業では同10.6%の増益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数でみると、貸家や持家の減少などから前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回っている」

公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、国、独立行政法人等で増加しているものの、県、市町村などで減少していることから、前年度を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回っている」

輸出(円ベース)は、前年を下回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(30年1-3月期)の景況判断BSIでみると、30年1-3月期は、引き続き「上昇」超となっている。先行きについては、30年4-6月期は、引き続き「上昇」超の見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を下回っている。
- 消費者物価(福岡市)は、前年を上回っている。
- 貸出金残高は、前年を上回っている。